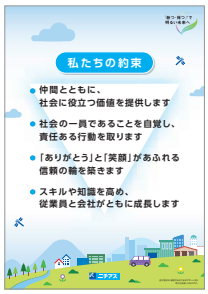
ニチアスグループの理念体系とサステナビリティ

ニチアスグループの理念体系

当社グループでは、「ニチアス理念」、「私たちの約束」、「サステナビリティ方針」の３つを大きな主軸として、各種方針や宣言を包括した方針体制を構築しています（図1）。

「ニチアス理念」は、当社グループの存在意義・使命を示すものであり、「私たちの約束」は、当社グループの従業員としての心構えと行動原則を示しています。

また「サステナビリティ方針」は、当社グループの持続的成長と持続可能な社会の実現を目指して策定されたもので、各種方針や宣言の受け皿としての役割を担っています。



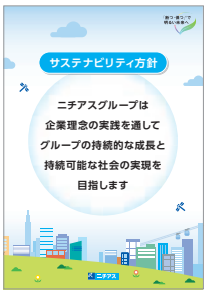
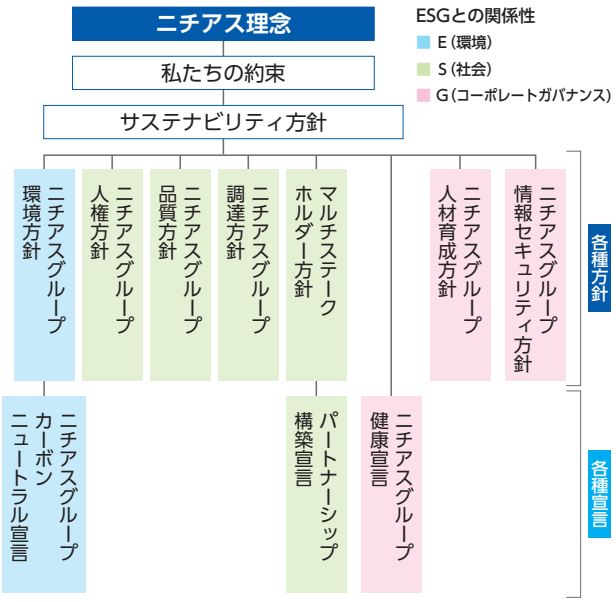


図1 ニチアスの理念体系図



ニチアスグループのサステナビリティ

当社グループのサステナビリティ推進については、サステナビリティ方針に基づき、サステナビリティ推進委員会が全体の方針や目標を定めています。

サステナビリティ推進委員会の傘下には、環境部会、社会・人事部会、（コーポレート）ガバナンス部会、デジタル部会、ストラテジー部会の５つの専門部会があり、各部会は各種方針や具体的な戦略・課題を設定し、継続的に活動を推進しています。

環境部会では、気候変動や生物多様性などの環境課題に取り組んでいます。社会・人事部会では、人材戦略やエンゲージメント向上施策などの人的課題に対応しています。（コーポレート）ガバナンス部会では、ガバナンスやコンプライアンスといった管理課題に取り組み、デジタル部会では、DXやAIの効率的な活用などの情報課題に対応しています。さらに、ストラテジー部会は、各部会の活動を経営に連動させ、円滑に推進する役割を担っています。

各部会の主要課題は表１の通りです。これらの課題に継続的に取り組むことで、当社グループの持続的成長と持続可能な社会の実現を目指します。

表1 各部会主要課題

部会	2025年度主要課題	2026年度主要課題
環境部会	■ 環境配慮設計制度の策定 ■ 気候変動対応 ■ 資源循環への対応 ■ 自然共生への対応 ■ 国際イニシアティブ情報開示	■ 自然共生活動の活性化 ■ 環境価値のブランディング強化(環境配慮設計制度の導入他)
社会・人事部会	■ 求める人物像の策定 ■ 人材育成方針の策定 ■ DEIへの取り組み	■ 経営戦略と連動した人事戦略の立案 ■ エンゲージメント向上施策の実施 ■ 全社教育体系整備に向けた準備
(コーポレート)ガバナンス部会	■ コーポレートガバナンスの効率的運用 ■ リスクマネジメントの体制づくり	■ 国内外子会社ガバナンス支援・強化 ■ 有事対応マニュアルの浸透・定着
デジタル部会	■ DXビジョンと方針策定 ■ デジタル投資の可視化 ■ DX人材の育成	■ DX課題のロードマップ化と推進 ■ DX人材の育成
ストラテジー部会	■ 新理念体系 周知活動 ■ 各種認証・Indexへの対応	■ SSBJ関連適用化の準備・周知活動 ■ FTSE Blossom採用に向けた取り組み ■ 統合報告書の充実・高度化

ニチアスグループの重要指標の進捗①

中期経営計画について

中期経営計画は、2022～2026年度の5年間であり、前半（2022～2024年度）を「1stステージ」、後半（2025～2026年度）を「2ndステージ」と位置付けています。

「1stステージ」では、「収益性の向上」と「事業の選択と集中」に重点を置き、効率的な事業戦略の推進と投資の最適配分に取り組みました。「2ndステージ」では、理念体系に基づき、人材やAI・DXなどへの新たな投資を強化するとともに、グループ課題の見直しを行い、活動を開始しています。

NPI（ニチアス業績指数）の進捗

当社グループでは、図2の「しくみの木」に示すように、5つのグループ課題ごとにNPI（ニチアス業績指数）を設定し、活動を推進しています。

中期経営計画「2ndステージ」の初年度となる2025年度は、世界経済の不透明感が高まる中で、「収益性の向上」については、売上高2,519億円、営業利益率14.7%となりました。

「事業の選択と集中」については、設備投資額110億円、ROE13.9%、ROIC10.7%、EBITDA443億円となりました。また、各事業別ROICの運用を開始しました。

「効率的運営」については、会議時間の削減やデジタル効果の可視化を進め、総実労働時間順守率は98.9%となりました。

「環境対応」については、CDP評価において、気候変動分野で「B」、水セキュリティ分野で「B」のスコアを取得しました。GHG排出量は前年度より1.5万t-CO_2eq削減し、16.5万t-CO_2eqとなりました。

「基盤強化」のうち品質面では重大クレーム数が1件、労働安全面では国内製造における労働災害度数率が3.07という結果となりました。そのほかのNPI他重要指標については、表2に示します。

2026年度は中期経営計画の最終年度となります。現在策定中の新中期経営計画へとつなげるべく、各課題の達成に向けて邁進してまいります。

図2 しくみの木

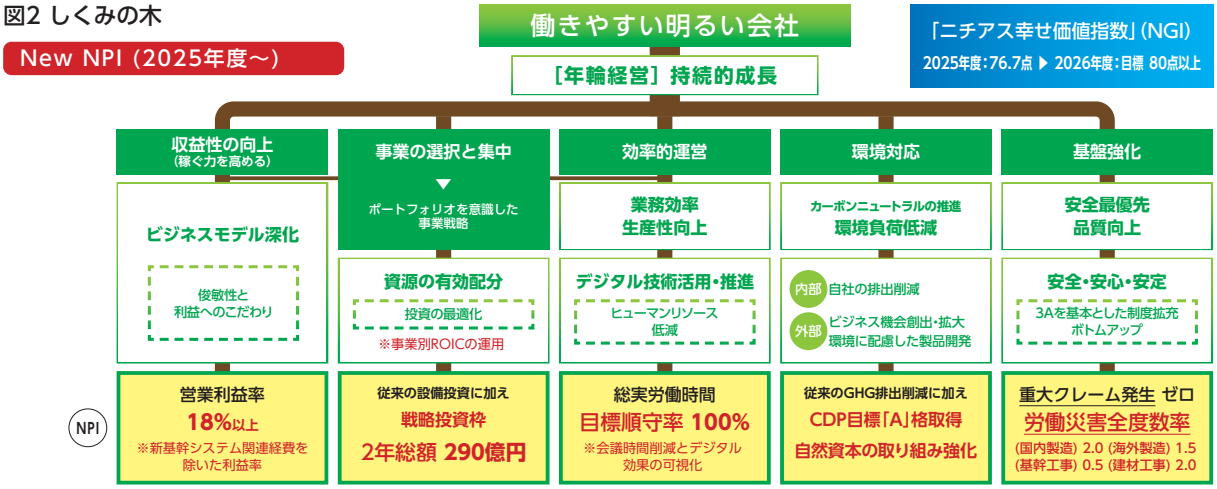


表2 NPI(ニチアス業績指数)他グループ数値目標と実績

項目			NPI	2025年度実績	2026年度目標値(2ndステージ)
収益性の向上	売上高	(億円)		2,519	2,750
	海外売上高	(億円)		518	580
	営業利益率	(%)	○	14.7	17.3(18.0※1)
事業の選択と集中	設備投資額	(億円)	○	110	通常投資総額 240※2 / 戦略投資枠 290※2
	ROE	(%)		13.9	≧15.0
	ROIC	(%)	○	10.7	14.0
	EBITDA	(億円)		443	550
効率的運営	総実労働時間順守率	(%)	○	98.9	100
	総実労働時間(全社平均)	(時間)		1,920	–
環境対応	GHG排出量※3	(万t-CO_2eq)	○	16.5	17.0
	産業廃棄物排出量※3	(千t)		13.9	17.1
基盤強化	労働災害全度数率(国内製造)	—	○	3.07	2.0
	労働災害全度数率(海外製造)	—	○	1.40	1.5
	労働災害全度数率(基幹工事)	—	○	1.64	0.5
	労働災害全度数率(建材工事)	—	○	2.65	2.0
	重大クレーム発生件数	(件)	○	1	0

※1 新基幹システム関連経費を含まない場合の値　※2 2年総額　※3 当社グループ製造事業所(海外を含む)

ニチアスグループの重要指標の進捗②

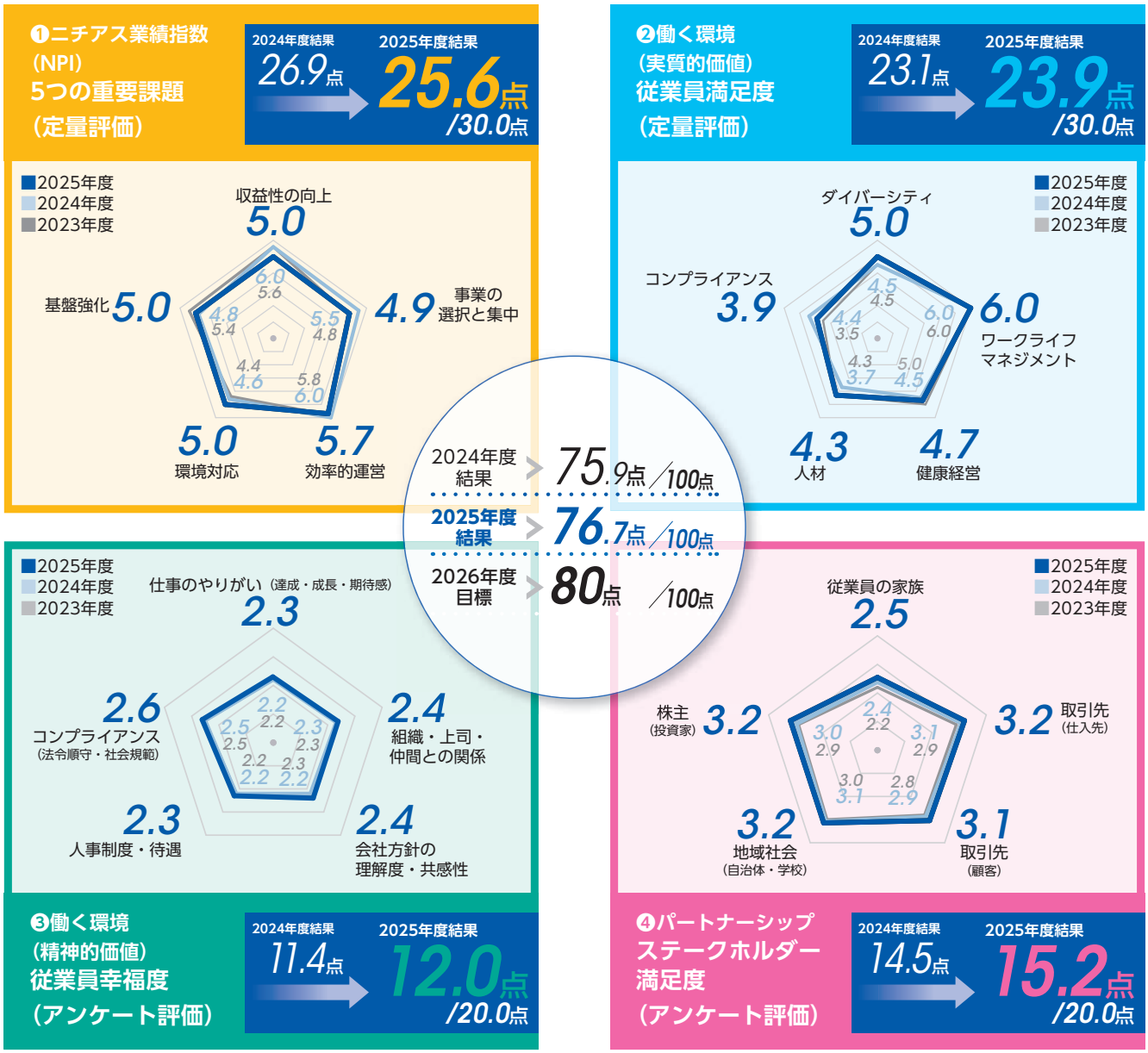
2025年度ニチアス幸せ価値指数の結果と向上施策

当社グループでは、「働きやすい明るい会社」の実現度を評価する通信簿として、「ニチアス幸せ価値指数」の評価を2022年度から進めています（図3）。

「ニチアス幸せ価値指数」は❶ニチアス業績指数(NPI)、❷従業員満足度、❸従業員幸福度、❹ステークホルダー満足度の4つの評価要素から成り立っています。

詳細は下図の通りで、2026年度に100点満点中80.0点獲得を目標に進め、2025年度は76.7点の結果となりました。

図3 2025年度ニチアス幸せ価値指数



2025年度の結果を踏まえた指数向上への取り組み

2025年度の結果では、①ニチアス業績指数(NPI)については、主に「収益性の向上」の項目においてスコアの低下が見られました。一方で、②従業員満足度、③従業員幸福度、④ステークホルダー満足度については、全体的にスコアの向上が見られました。

しかしながら、昨年度と同様に、③従業員幸福度における「仕事のやりがい」や、④ステークホルダー満足度における「従業員の家族」の項目については、依然として低い水準にとどまっています。

これらの課題の改善に向け、2026年度はエンゲージメント向上およびキャリアビジョン実現支援に関する施策を推進するとともに、従業員の家族向けイベントの充実を図ることで、さらなる従業員を含むステークホルダーの満足度・幸福度の向上に取り組んでいきます。

今後も「ニチアス幸せ価値指数」の点数向上を目指し、さまざまな施策を行い「働きやすい明るい会社」を実現させてまいります。